

平成28年第1回議会報告会でいただいた意見・要望

No.	所管	内容	地区
1	全体	Q 魚沼市議会はまとまりがない。付帯決議に反対する議員もいたようだが建設が決まったのだから一つにまとまるべきだ。この間は反対のチラシも入ってきた。 A 議会としては、議決されたことで建設に向けて進んでいるところ。チラシについては、議会とは関係のないもの。	守門
2	全体	Q 職員が現地調査もせず、突然指定管理にしてしまうのはどうなのか。役所は現地を見ず指定してしまう、そして客は入らない。すると客が来ないから閉鎖してしまう。おかしいと思うが。 A 数的に多くの指定管理施設がある。議員がすべて把握は難しい。市民の使い勝手の良い指定管理にしていく。 Q 指定管理施設の開館時間は8:30～16:00だったが現在は8:00～17:00となり、撤収する18:00まで使用できる、大変使いやすい時間帯にしてもらい、ありがたい。	入広瀬
3	全体	Q 人口減少問題を多くの議員が一般質問しているが、具体的な提案やそれに対する当局の答弁も具体性がなく、通り一遍のやり取りに終始している。人口減少対策の取り組みについて何かないか。 A 雇用を確保するため、水の郷工業団地に企業誘致を進め、ブルボンの進出が決まった。また、妊産婦の医療費補助や子育て支援に取り組んでいる。	広神
4	全体	Q 学区の問題、人口減少の問題など、5年から6年で大きく変わると思う。問題山積であり、議会も特別委員会のようなものをつくり、スピード感をもって取り組んでいただきたい。 A 特別委員会をつくるかどうかは別として、真剣に取り組んでいく。	広神
5	全体	Q 30年後の人口推計は。 A 平成52年には2万5,560人で60%が高齢者になるという推計である。 Q 少子化対策に全国にはない奇抜なものを提案してほしい。 A 意見として受け止めてやっていきたい。 A 危機感をもって個々にはアプローチしている。行政は企業誘致や子育て支援の拡充等で、3万5,000人くらいで歯止めをかけていきたい方向である。 A 市民の意見を議員に届けてほしい。	湯之谷
6	全体	Q 将来の財政はどうなるのか。 A 地方交付税は平成19年度が一番少なくて、それから少しずつ上がってきているが、普通交付税は、合併特例措置による上乗せ分約30億円減額されるのが、国の政策により約70%が復元することにより、約10億円の減額と、本年2月に発表した第3次財政計画を見ますと、前半5年間は約2億円、それ以降は1億円の減額を見込んでいる。 Q 魚沼市の将来像を描いた中で、それに合った将来に向かった予算が計上されていないように思うが。 A 普通交付税や税収、また人口も減ってくる事は予想されるが、人口減少をできるだけ抑える考えで予算が計上されていると思う。 Q 人口減少問題の主策の中で関係予算が有って、その下に重点予算がある、それがリンクしていない。予算の関係をこまめに見ていただきたいし、魚沼市の将来にどういうところに予算をつけるか考えなければならない。ただ分配だけで終わってはいけません。 A 私どもは決算を踏まえ、魚沼市の未来像を含めながら、当局が上げた予算が適正なのかということで議論をさせていただいている。今後も、魚沼市の未来を考えていかなければならないと思うし、予算についても先を見据えた予算編成されていると思っているので、今後とも監視をしながら精査していかなければならないと考えている。	小出
7	全体	Q 議員定数について、来年の改選までに、小千谷市と同じになるような議員定数の検討をしていただきたい。 A ご意見として賜る。今回の議会報告会のアンケートを集約しながら検討していく。	小出

No.	所管	内容	地区
8	全体	Q 一般質問で傍聴者が少ない。市民が興味を示さないところに、大きな課題があるのでは。行政と議会と市民がバラバラになっているのでは。これからの魚沼市を創生していくには、これらの関係をどう置き換えていくかが大きな課題ではないか。 A 行政と議会と市民が一体になっていないことが非常に大きな問題と思っている。今後の議会報告会を含めて、開かれた議会に向けて検討する。今回の意見等をきちんと精査して報告をさせてもらう。	小出
9	全体	Q 何回か議会報告会に来ているが、おもしろくない。委員長が代表して話をしますではおもしろくない。議員個々の意見をぶつけ合ってもよいのでは。 A 議会報告会は、議会全体のことについて報告することになっており、個人的な考えは、議員の活動報告でやっている。やり方については今後検討させていただく。できるだけ皆さんがまた聞きに行きたくする議会報告会を目指していく。 A 一定のルールに従って行う必要もある。しかし、今の意見を参考にしながら、今後の実行委員会で検討する。 Q これまでの議会報告会は行政報告会のようにつまらない。いろいろの制約があるのはわかるが、議員さんがそれでいいのか感じている。議会の本音が聞こえる報告会にしていきたい。たとえば、議論が伯仲した議案、または、賛否が伯仲した審議内容、少数意見など聞かせてほしい。 A 議会報告会については、検討する。	小出
10	全体	Q 選挙の投票所について、投票率が下がっている原因のひとつに、投票所の集約があるのでは。期日前投票所が各庁舎になっているが、もっと人の集まる、たとえばコンビニに期日前投票所があってもよいのでは。議会では提案ができるのであれば、ぜひ提案していただきたい。 A 投票所については、選挙管理委員会に報告させていただきます。	小出
11	総務	Q 斎場のことで、農協も同じことをやっていると思うが、新たに造ったいきさつを聞かせてもらいたい。 A 農協が行っているのは葬儀場で斎場は行っていない。	守門
12	総務	Q 先ほど斎場のところでミスがあったというがどういうことなのか。 A 杭工事で、径によって単価が違うが、直径が60センチの杭と80センチの杭の単価が入れ間違った。最終的には38万3,960円過小となり市民に説明のつかないことをしてしまった。また、設計委託業者の記載間違いに対してや、市の担当にも管理監督責任があり、処分を行った。過小金額等については、施工業者に説明は済んでいる。委員会としても今回の件について厳しく指摘している。	守門
13	総務	Q ごみ焼却場は南魚沼市につくると聞いているが、負担金はあるのか。 A まだ、どこにつくるかは決まっていない。説明会があったところ。2市1町でつくるため負担金はある。負担金は人口割になる。	入広瀬
14	総務	Q 魚沼市の職員数は多いか少ないか、どう思うか。近隣の小千谷市等と比較して、どうか。 A 小千谷市は合併していない。魚沼市は945km ² と広い。分庁舎の現在では比較は難しい。新庁舎建設をしながら適正化していく。 Q 先日小出庁舎へ行ったが、職員の挨拶もよく対応も良くなった。挨拶と対応の仕方で住民の満足度がアップするので頑張してほしい。	入広瀬
15	総務	Q 小出郷文化会館を指定管理にした目的は、行財政改革の一環であると行政側は答えているが、議会としてはどのような印象で受け取っているか。単純に経費の削減をしたいという印象ではないか。 A 行財政改革の一環であるが、民間活力による更なる文化振興を図ることと、今まで、非常勤職員が12名で身分が安定していないため、専属の技術者が育たなく、財団等の組織として正式な雇用を図る事で安定的な運営を図って行く目的と思われる。	堀之内
16	総務	Q 地域おこし協力隊が、「食べる通信」の発行など地域の活性化に役立っており期待しているが、本年2名受け入れ予定の中で、1名に辞退があったとのことだが、原因は何か。個人的な都合であればよいが、その人が思っていた条件と違ったということであれば、今後、検討が必要だと思う。 A 辞退の要因については聞いていないのでわからないが、今も新たに募集をしている。	堀之内

No.	所管	内容	地区
17	福祉	Q 教育委員会というのは、どんな権限があり実施できる立場なのか。新聞等でいじめや自殺があったときにいつも苦しい答弁をしていて、よくわからないのだが。 A 他の自治体と比較しては言えないが、一般論として教育施策を立案し実施することにおいては、それなりに権限はあるが予算がないので弱いという議論もある。魚沼市については、いじめなどの施策もいろんなことを行って、市も理解を示している。国も法改正で教育長の権限強化を行っている。	守門
18	福祉	Q 「広神・守門・入広瀬の中学校学区再編は決定していない」となっているが、どうなっているのか。次の議会で決定するのか。 A 28年度に委員会でやり方を検討する。	入広瀬
19	福祉	Q 入広瀬では幼稚園児は守門へ行ってしまう。入広瀬に留めることはできないか。 A 入広瀬幼稚園への希望者がなかった。	入広瀬
20	福祉	Q 中学校学区再編の委員として8回の会議に出席してきた。学区再編委員会のやり方が悪い。それぞれの地域で好きなことを言っていてはまとまらない。地域間の意思疎通がないことでトラブルになっている。議会としても、調整してまとめるよう難儀してもらいたい。 A 地域の意見を尊重したいとして、無理に委員会を進めなかったと報告いただいている。これからも、子供の将来を考えた中で取り組んでいく。 A 学校がなくなる地域にとっては、地域の核がなくなるわけで、感情的にも簡単ではない。しかし、子供たちの教育や将来が大事だ。引き続き取り組んでいく。	広神
21	福祉	Q 井口小の校名は平成29年4月1日より湯之谷小になり開校するのか。 A 平成29年4月1日より開校になる。	湯之谷
22	福祉	Q 学区再編検討委員会は方針がまとまらなかったのか。今後の方向性はどうか。 A 学区再編については前回平成18年とは違う入広瀬・守門、広神の3中学校の統合案を平成25年に打ち出し、昨年1年間で8回検討委員会を開催したが、結論がでなかった。平成28年度中には結論を出したい方向である。	湯之谷
23	福祉	Q 学校の統合問題、非常に難しいのかなかなか決まらないが、議会が真剣に協議するべきでは。生徒数が年々減ってきているから、議員は将来を展望して、学校をつくるとかは、慎重に審議してほしい。 A 入広瀬中学、守門中学、広神中学の統合問題については、地元の方々の本音をしっかり出して方向を決めていただきたいという、教育委員会の考え方でここまでやってきたが結論が出なかった。今年度も継続して検討していくが、教育委員会としては、地域の自主性にまかせるだけなのか、また、教育委員会として一定の方向を出して検討するのかを含めて検討しているところである。 A 生徒数が減る中での学区再編は、ただ校舎が古くなったから建て直すのではなく、地域の核、または、魚沼市全体を考えた中で、考えていかなければならないと思っている。平成17年から俎上に上がっているが、市民の皆様にはまだ目に見えていないことなので、議会としても調査をしていく。	小出
24	産建	Q 水の郷工業団地の第1期分は完売で、第2期分の造成を考えているようだが。 A 市としては、まだ検討している企業もあることから2期分も造成したいという報告は受けている。 Q その面積はどの程度か。 A 全体で30ha、そのうち1期分が13.5ha、残り16.5haとなっている。	守門
25	産建	Q 今年は小雪だったが、大雪の時の除雪を市に言っても金がないの返事ばかり。今年の除雪費減分を28年度補正予算に計上できないか。 A 27年度分は消雪パイプ補修等小工事をやる。	入広瀬
26	産建	Q インバウンドが増加している。2020年にオリンピックがある。魚沼市も各施設を練習場として誘致すべきと思うが。 A 調査して検討していく。	入広瀬

No.	所管	内容	地区
27	産建	Q 足立区等からの体験学習の子供たちを受け入れているが、受け入れ側の感触はどうか。どのように評価されているのか。 A 魚沼市では、力を入れ取り組んでいる。子供たちや保護者から大変良い評価をいただいている。受け入れ側も良い感触と聞いている。	広神
28	産建	Q 吉田地区にショッピングセンター建設の話があり、消雪パイプ等を含め説明会の開催はないのか。 A スーパーウオロクと市が協定を締結した。除雪・消雪パイプは今後の話し合いである。土地は借地で今年は作付けし、秋より造成、来年建設予定と聞いている。 A 地下水保全条例を昨年制定によりある程度の歯止めはできると思う。 Q 近くにできるとまわりの固定資産税にも影響すると思うがどうか。 A 現在検討中である。 Q かつて法務局の近くで固定資産税が上がった経過があるが、今は移転してなくなっている。 A 今後検討していきたい。	湯之谷
29	産建	Q 木質バイオマスについて、どんな考え方なのか。施策を実行するとなったら、慎重にやらなければならない。 A 当初は5千Kwの発電計画だったが、集材がむずかしいので、現在は2千Kwの発電を計画しているが、集材がかなり難しいことから、計画を進めるか検討中である。 Q 発電の材料となる木材の伐採、運搬に費用がかかるので、この地域での木材バイオマス発電は無理だろうと考えている。	小出
30	産建	Q 30社を募集してホームページの立ち上げを目指し、3カ年で最終的に100社を目指しポータルサイト運営につなげたいとあるが、市がホームページを立ち上げ支援するのか。新しい入り口をつくる事はよいことだと思うが、せつかくお金をかけたシステムであり、こうしたことにたけた若者等の力を借りて支援をして欲しい。 A 湯之谷の商工会が中心になって、魚沼産のカatalogショップを運営しているが、これをバージョンアップしてネット上のショッピングセンターを立ち上げるよう、市が支援することになる。せつかくの企画ですので効果が上がるよう支援していく。	堀之内
31	産建	Q 子どもの見守り隊をやっているが、除雪の基準が10cmとなっているが、県や業者とのやりとりでは15cmと言われた。どっちが正しいか？また、降雪量によって夜中の2時ごろ除雪され、朝になって子どもたちが大変な時もあり、地域間で差の無いよう市で調整をお願いしたい。 A 基準については、10cmとの報告を受けているが、朝になってから降ってくる場合もあり、出勤時期が通勤時に重なることもある。できるだけ慎重な対応を心掛けるよう検討課題とさせていただく。	堀之内
32	産建	Q ふるさと旅行券事業は安いので申し込みしたかったが、1日で完売したのは、18件のホテルが対象であり、金を出すばかりでなく、最後まで調査をしてどうするのか、委員会できちんと把握してほしい。 A すぐに完売したが、その後の調査は今後やっていく。 Q 安いので完売した。最後まで把握してほしい。もうちょっと何とかしてほしい。 A まち・ひと・しごと創生事業で訪れた人に第2住民票の発行、パブコメ等を考えている。来た人から継続してもらいたい。ふるさと納税は昨年1年間で1,000万円が4月で1,900万円を超えている。他に神湯温泉宿泊・ゴルフパックもあり、色々なアイデアを絞って考えてゆきたい。 Q 委員会で利用されたホテル等も呼んで色々な角度から議論をしてほしい。 A 意見として受け止める。	湯之谷
33	議会運営	Q なぜ、定例会の初日に、庁舎の位置条例を採決したのか。最終日に採決するのが普通のやり方ではないか。 A いつ採決しなければならぬということとは決まっていない。議会日程については、議会運営委員会にかけ、協議して決定している。	広神
34	議会運営	Q 委員会もインターネット配信をやってほしい。 A 委員会もインターネット配信できるよう検討している。	広神

No.	所管	内容	地区
35	議会運営	Q エフエム魚沼で議会 本会議特に委員会をライブで流して載きたい。 A 今も本会議一般質問はインターネットで配信しているが、今後の検討課題としたい。 Q 1票を投じた人の動向を聞きたいので真剣に検討してほしい。 Q エフエム魚沼に魚沼市も補助金を出しており、年4回の議会の中継をするよう提案をいたします。 A 検討課題とさせていただきます。	湯之谷堀之内
36	議会運営・議会改革	Q 魚沼市議会のホームページで、昨年12月の議会録を見た。質疑答弁があるが、審議が始まるとすぐに休憩する。魚沼市議会ほど休憩のある議会はない。休憩中は議事録に載らない。何年来の問題であり、市民に中身の見える議会となるよう希望する。 A 議会運営委員会で検討して、なるべく休憩を取らないようにやっていきたいと思う。	堀之内
37	議会運営	Q 庁舎の位置条例が、前回の特別委員会で継続審査になって、今回の議会では、議会最終日に審議される予定と伺っていたが、実際は議会初日に審議された。重大な内容であり、なぜ日程が変わったのかについて質問する。 A 2月18日に特別委員会が開催されて、位置条例について審議され継続審査の動議がなされたが、少数で否決され、位置条例が可決されたため、これを受けて緊急の議会運営委員会を開催し、議会初日に審議することが決まった。	堀之内
38	広報	Q 28年度予算の表記について、物件費の中にも臨時職員の人件費が含まれている。わかりやすく分けて表記できないか。以前は物件費を分けて人件費分がわかるように表記したこともあり、その方がわかりやすい。 A わかりやすく表記できるよう、今後検討する。	広神
39	地域医療	Q 小出病院の1フロアが未使用なのは看護師不足のためか。平成28年度予算には盛り込んでいるのか。 A 療養病床44床が看護師不足により未開業となっている。平成29年度目途に動いている。堀之内病院の療養病床を老健施設にして、小出病院に療養病床を開設する予定である。魚沼基幹病院も看護師不足であり、県・市・医療公社一体となり対応してゆく予定である。	湯之谷
40	庁舎	Q 新庁舎建設が決まったようだが、建設位置の全体の面積はどのくらいあるのか。市の所有地がどのくらいあるのか。 A 魚沼市の市有地は、1万3,000㎡である。 Q 計画では2万㎡だったと思うが、足りないところはどうするのか。 A 足りないのは電源開発様の土地を借りることになっている。場所はグラウンドの隣である。	守門
41	庁舎	Q 庁舎建設位置の地番が910番地1でないと問題になっているようだが。 A 910番地の中に建設する。今後皆さんのご意見を聞く機会もあるかと思う。	守門
42	庁舎	Q 庁舎建設についての説明が足りないのではないか。 A 議会の一般質問でも度々質問があり、市長からは説明会を十分にした経緯が答弁されている。	守門
43	庁舎	Q 魚沼市が、この先人口が減ることもあるが、10年後、20年後の将来に発展させるために、この庁舎をうまく使ってほしい。 A 人口減少の対策は国の施策もあるので、それをうまく活用しながら議会としても市と一緒に進めていきたい。ご意見として伺う。	守門
44	庁舎	Q 新庁舎建設の事業費は。電力会社の土地を借りると言っていたが。 A 45億とか50億と言われているが、まだ決まっていない。	守門
45	庁舎	Q 大平市長は「新庁舎建設はしない」と公約し市長選に勝ち当選した。建設するなら選挙をすべきと思う。議会でそういった発言はなかったのか。 A 市長の根本的問題で、議会で文句を言う問題ではない。選挙での市民の判断だ。 Q 市長は市民の親である。市長は子供に嘘をついた。議会の責任はどうか。 A 個人の答弁は差し控える。	入広瀬

No.	所管	内容	地区
46	庁舎	Q 魚沼市は子供の大幅な減少が続いている。そして若者の職がない。子供、若者が減っているのに50億円の庁舎はいらない。南魚沼市と合併しては。 A 新庁舎はいらないではなく、新庁舎を建て魚沼市の持続性をしっかり議論していく。	入広瀬
47	庁舎	Q 庁舎の議決で、付帯決議に魚沼市の身の丈に合った庁舎を、と議会で決めた。市が設計する前に議会として先に庁舎の規模を提案してはどうか。 A 基本設計、実施設計が進められるなかで、具体的な予算規模も示されてくる。委員会として引き続き調査を進めていく。 Q 私は、新庁舎は作るべきと考えるが、景気が良くない今やるべきものなのか疑問だ。	広神
48	庁舎	Q 新庁舎の提案の段階で、市民に説明が少なく内容がわからない。身の丈とする議論を議会で出せないものか。 A これから基本設計が出てくる。委員会としてどの程度コストがかかるのか、中身はどうか、しっかり取り組んでいく。	広神
49	庁舎	Q 新庁舎建設が決定するまで長い年月がかかっているが、同時にまちづくりや旧庁舎の活用についても並行して議論するべきだったのではないか。 A 議会だより（5ページ）のように、たいへん長い年月がかかった。これから決めていくことがたくさんある。 A まちづくりの関係は各委員会に共通する課題だ。旧庁舎の利活用については、平成28年度に方向性を出すことになっている。	広神
50	庁舎	Q 過去に守門庁舎が竣工した時、内覧会で華やかな装飾やぜいたくな作りの村長室を見た住民から文句が出て、内覧会を中止したことがある。新庁舎については、このようなことがないように。 A 今後、新庁舎の内容についてもしっかり調査していきたい。 A ご意見として承る。	広神
51	庁舎	Q 新庁舎の建設については最悪の結果にならないように、よそからも見学者が見に来るような思い切った庁舎を作ってほしい。 A そのような方向で進めている。市民の声を聴きながら1年間かけて設計をして行く。	湯之谷
52	庁舎	Q 新庁舎建設は決定したのか。 A 決定しました。 Q 予算はいくらか。 A 設計業者が決定し、現在設計中でありその後決定する。 Q 身の丈にあった庁舎で市民の意見を取り入れてほしい。 A そのように付帯決議をしている。 Q 47～50億円は本体建設費で土地・付帯工事は別だと思う。合併特例債70%、残り30%は将来の子供達の負担にならないようにしてほしい。 A 総額50億円位で利子1%も含めると特例債を除くと市の負担は19億円位になる。小出・堀之内・広神・湯之谷の各庁舎が順番に耐用年数になってくるので、その時ではなく今でないと合併特例債が使えなくなる。	湯之谷
53	庁舎	Q 庁舎を作るのに予算もなしで作るのは甘すぎる。プロポーザルでは300名の職員で設計しているが半分の職員でよい。小出病院は赤字になる。住民の半分は庁舎建設に反対ではないか。議員は真剣に考えてほしい。 A 意見として重く受け止めていく。	湯之谷
54	庁舎	Q 庁舎建設に対して長年に亘って出した結論にお礼を申したい。議員は住民の代表である。働いている職員もよく聞いてほしい。職員の働きやすい環境で良い仕事ができるようにしてほしい。 A そのように取り組んでゆきたい。職員労組も早く一本化してほしいと要望もでている。	湯之谷

No.	所管	内容	地区
55	庁舎	Q 庁舎の条例可決に付帯決議がついているが、これはどのように担保されているのか、実際に実行されるのか。 A 付帯決議というものは、拘束力がないが、議会が決議したことなので、当局が真摯に受け止めていくことが付帯決議の意義であり、大変重い決議と思っている。 Q 議会としても付帯決議の内容をしっかりとやっていただきたい。	小出
56	庁舎	Q 市報に載っていた設計者が提案したイメージ写真が基本か。この形では建設費が高くなるのでは。身の丈に合った建物、効率の良い建物を建ててほしい。 A 広報の写真はイメージである。具体的なところは、まだ議会には示されていない。時代の趨勢を反映させるのであれば、より新しい視点での身の丈というのも考えていかなければならないと思っている。今後委員会としては、魚沼市にふさわしい庁舎建設を調査していく。	小出
57	庁舎	Q 建設コストを下げる信念を持って議論をしてほしい。新庁舎にお金を傾注するのではなく、低所得者が住みやすいまちづくりに金を傾注してほしい。 A 予算を議決する場が大切であり、しっかりと取り組んでいく。 A お金の使い方について、無駄にならないように議会としてしっかりと監視をしていく。	小出
58	庁舎	Q 魚沼市は借金が多いのだから、借金をして庁舎を建てるなんてのは、議員からは、反対をしていただきたい。 A 借金については、議会としては、最少の経費で最大の効果を上げるよう調査をしており、それを監視するのが議会の努めであるので、今の意見を心に刻みながら議会活動をしていく。	小出
59	庁舎	Q 2月23日に新庁舎位置条例が可決されたが、その際付帯決議がなされ、庁舎設計の各段階で市民の意見を聞く、将来を見据えた身の丈にあった庁舎の規模とするなどが可決されているが、その後、委員会としてどこまで進んでいるか聞かせてほしい。 A 2月23日以降は、2月29日に庁舎に関する請願2件の審査、5月2日にプロポーザルの審査結果、今後のスケジュールについて説明を受けた後、渡辺政策参与から講演を受けた。 Q 議会として、魚沼市としての身の丈を論議して行くべきと思う。設計の段階で、用地の必要面積が出てくると思うが、市有地がどれほどあるのか、不足の土地代はどうなるのか、それによって費用が大幅に増加することも考えられるが、いかがか。 A 身の丈については、今後の設計の段階で検討して行く。市有地は1万3,000平方メートルある。用地が不足の場合は、電源開発から土地の借入をする予定。 A 今後、設計者から市民の声を聞くワークショップの機会を設ける予定ですので、その声を反映した設計となる。	堀之内
60	庁舎	Q 公募型プロポーザル審査経過の中で、非公開があったが市民をないがしろにした行為と感じた。3月27日は公開プレゼンテーションであったが、ただの1回でのプレゼンで、翌日に業者を決定したが、これだけの大事業であり慎重にすべきだったと思う。私どもの地域では、5、6千万の事業でも2、3回のプレゼンを実施している。経過を説明して欲しい。 A 公募型プロポーザルは2月に公募して16社の応募があり、3月4日に1次審査がなされ5社を選定し、3月27日に公開プレゼンテーション、ヒアリングが実施され、その後、5名の審査委員で審査の結果、最優秀者が決定された。	堀之内
61	庁舎	Q 位置条例が可決された後、付帯決議が議決されたが、私が聞いていた内容と違う中身となっている。市民による庁舎検討委員会を立ち上げることと、市民アンケート調査を実施する、の項目がなぜか削られている。私が執行部であれば、決議など聞いているふりをして聞かなくともよい。今の執行部が守るはずがないと思うが、これを議会として条例化して欲しい。市民として大事な問題であり、条例にさせていただくと法的な制約がかかる。反省会でこういう意見があったと必ず言ってほしい。 A 発議第1号が違ったのは、提案者がいろいろな角度で検討の結果、こうした提案になったものと推察される。条例化との話があったが、議員は条例の提案ができるが、過半数以上の賛成がなければ条例化はできない。	堀之内